

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

○ 令 達

昭和十五年五月十一日(主)

海軍大臣官房

官房第三〇五號ノ四

昭和十四年度新造雜役船ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十五年五月十日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	所 屬	定 數 別	製 造 訓 令 番 號	竣 工、納 入 豫 定 期 日	備 考
第二〇七號	曳 船 (百五十艘)	佐世保海軍建築部	臨時附屬	官房第一三八八號 港部司令官ニ訓令 製 造 所 契約納入場所	昭和十六年 三月末日	高雄工事用
第二〇七號	同	同	同	同	同	同
第二〇七號	同	同	同	同	同	同
第二〇七號	同	同	同	同	同	同
第二〇七號	同	同	同	同	同	同
第二〇七號	同	同	同	同	同	同
第二〇七號	同	同	同	同	同	同

海軍公報(部内限)號外

第二五五號	同	(同)	岩國海軍航空隊	同	同	吳工廠	同	
第二五七號	內	火艇 (十六米)	佐世保海軍工廠	臨時附屬	同	橫須賀工廠	同	(魚雷追跡用)
第二五八號	同	(十六米)	同	同	同	同	同	(消火用)
第二五九號	同	(十二米)	海軍水雷學校	同	同	同	同	
第二六〇號	同	(十一米)	佐世保海軍建築部	同	同	同	同	高雄工事用
第二六一號	同	(同)	同	同	同	同	同	
第二六二號	同	(九米)	佐世保海軍建築部 (馬公出張所用)	同	同	同	同	
第二六三號	同	(同)	吳海軍建築部 (工事用)	同	同	同	同	
第二六四號	內	火艇 (砲艇型×十五艘)						
第二六五號	同	(同)						
第二六六號	同	(同)						
第二六七號	同	(同)						
第二六八號	同	(同)						
第二六九號	同	(同)						

海軍公報 (部内限) 號外

第二九〇號	第二九一號	第二九二號	第二九三號	第二九四號	第二九五號	第二九六號	第二九七號	第二九八號	第二九九號	第三〇〇號	第三〇一號	第三〇二號	第三〇三號	第三〇四號
(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
佐世保防備隊														
臨時附屬														
宇品造船所														
吳工廠														
一月三十一日	同	十二月二十四日	同	十一月三十日	同	十月三十一日	同	九月三十日	同	八月三十一日	同	七月三十一日	同	同

三

0813

海軍公報 (部内限) 號外

第三九六〇號	同	(六米)
第三九五九號	同	(同)
第三九五八號	同	(同)
第三九五七號	同	(同)
第三九五六號	同	(同)
第三九五五號	同	(同)
第三九五四號	同	(同)
第三九五三號	同	(同)
第三九五二號	同	(同)
第三九五〇號	同	(同)
第三九四九號	同	(同)
第三九四八號	同	(同)
第三九四七號	同	(同)
第三九四六號	同	(同)

五

0815

第三七五號	同	(同)
第三七四號	同	(同)
第三七三號	同	(同)
第三七二號	同	(同)
第三七一號	同	(同)
第三七〇號	運貨	(船型)
第三六九號	同	(同)
第三六八號	同	(同)
第三六七號	同	(同)
第三六六號	同	(同)
第三六五號	同	(同)
第三六四號	同	(同)
第三六三號	同	(同)
第三六二號	同	(同)
第三六一號	同	(同)
佐世保海軍建築部		
臨時附屬		
官房第一三八六號佐世保 鎮守府司令長官ニ訓令		
同 月 末 日		
高雄工事用		

第591號	同	(同)					
第592號	同	(同)					
第593號	同	(同)					
第594號	浚	深 (ポンプ式) 船					
第595號	同	(同)	佐世保海軍建築部	臨時附屬	渡邊製鋼所	高雄港	三月三十一日
第596號	同	(同)					高雄工事用
第597號	同	(同)	横須賀海軍建築部	臨時附屬	油谷機械工 作所	吳工廠	十月三十一日
第598號	重	油 (五百噸) 船	横須賀海軍軍需部	同	藤永田造船 所	横須賀工廠	九月三十日
第599號	同	(同)	吳海軍軍需部 徳山支部	同		吳工廠	九月十五日
第600號	同	(同)	佐世保海軍軍需部	同		佐世保工廠	八月二十日

○正誤三月十八日公報 (部内限) 號外令達官房第三〇五號ノ二中未尾ノ公稱番號「第三九二六號」ハ「第三九三五號」ノ誤 (濟)

ル者死歿シ遺族トノ連絡上其ノ處理ニ付之ヲ海軍人事
部ニ依頼スル必要生ジタル場合ハ其ノ人事部ヲ佐世保
海軍人事部ト定メラレ候條了知相成度
追テ右ノ場合本人出身地ノ關係上他ノ海軍人事部ヲ
適當トスル際ニハ之ニ依頼シ其ノ旨佐世保海軍人事
部ニ通報スルコトニ取計相成度

(參照)

官房第五六〇號

昭和十三年二月四日

海軍大臣

關係各所屬長官殿

特設艦船ニ非ザル徵備船舶ノ固有船員等ニ對スル海軍
ノ人事取扱ニ關スル件訓令

支那事變ノ爲徵備セル特設艦船ニ非ザル徵備船舶ノ固有ノ船員及之ニ準
ズル其ノ他ノ人員ニ對スル海軍ノ人事ハ該船舶ヲ使役シアル艦船部隊官
衙ノ所屬長官又ハ其ノ指定スル艦長之ヲ取扱フ義ト心得ベシ

○ 辭令

(各通)

第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス

通信書記 細川 靜夫
集配員 林田 熊鬼

(各通)

通信書記 小野 貞雄
同 久保田 善滿
第二海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上^{十二}海軍省)
海軍機關中佐 梶谷 憲雄
第二課勤務ヲ命ス(請海軍省軍需局)

○ 雜款

○將旗復歸

第六隊戰司令官ハ五月十日將旗ヲ加古ニ復歸セリ

○司令驅逐艦復歸

第七驅逐隊司令ハ五月十日司令驅逐艦ヲ漣ヨリ湖ニ復
歸セリ

○艦船所在

指▲印△ハホフ
定ヲ要セズ

○五月十三日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、
迅鯨、▽劍埼、▽長門▲、陸奥、山城、▽赤城、
▽高雄、愛宕、▽五十鈴、▽蒼龍、▽多摩、
▽速、▽潮、春雨、夕立▲、五月雨、朝潮、
滿潮、荒潮、▽響▲、電▲、曉▲、雷▲、朧▲、
伊七▲、伊五▲、
尻矢、鳴戸▲

【長浦】

(高崎)、(翔鶴)、(伊二三)▲
殿島
沙風、帆風、▽朝雲、夏雲、峯雲、山雲、
伊六、▽呂五七、呂五八、▽伊一二四、
伊一二三、
掃五、掃六、掃四、掃一、掃二、▽掃三
(伊一七)

【石川島】

曙▲

【鶴見】

(宗谷)▲

【横濱】

(國後)▲

【浦賀】

(鹿島)▲

【館山】

(早潮)▲、(時津風)▲
摩耶

【大湊】

深風▲
波風、神風、野風、沼風
呂五九

【青森】

沖島

【函館】

潮風

【吳】

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、大井、
白鷹、八雲、龍驤、妙高▲、長鯨、日向、
初鷹、伊勢、▽加古、古鷹、▽熊野▲、
鈴谷▲、▽神通▲、千代田

吳竹、若竹、早苗、水無月▲、磯波、敷波、
矢風、▽綾波、浦波、▽黒潮、雪風、初風、
▽陽炎、霞、霞、不知火▲、▽初雪、白雪、
吹雪

伊一三二▲、伊一二一▲、伊六三▲、伊六〇、
伊五九、伊二六、▽伊五三、伊五五▲、
伊五四、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八、
伊七五▲、伊七四▲、▽伊六八▲、伊六九▲、
伊七〇▲、伊七三▲、▽伊七二▲、伊七一▲、
伊八

雁

掃一三、掃一四▲、▽掃一六、掃一五

攝津、隠戸、間宮、明石

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

(岡田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

海軍公報(部内限)第三千五百號

昭和十五年五月十三日

五一九

<p>【瑞鶴】▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二〇)▲ (伊二一)▲(伊三二)▲ 【飾鷹】▶球磨 【相生】▶鶴見▲ (蒼鷹)▲ 【玉】▶伊四▲ (占守)▲ 【因ノ島】▶長月▲、文月▲ 【三田尻】▶羽黒、那智、三隈、最上 【佐伯灣】▶川内 ▶東雲、白雲、叢雲、薄雲、▶天霧、朝霧、夕霧 【舞鶴】▶吾妻、龍田、長良、天龍、▶利根、筑摩▲ ▶秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱▲ ▶隼▲、鴨▲、鴻▲、鵠▲、千鳥 伊五二▲ (親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲ 青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、霧島、北上、榛名▲、能登呂、▶由良、▶千歳、▶金剛▲ ▶阿武隈▲、飛龍、常磐 初春、▶三月月、菊月、夕月▲、卯月▲、夕風、皐月、彌生、如月、▶望月、睦月▲ ▶江風、涼風▲、海風▲、山風、▶白露▲、夕暮、有明、時雨▲ 呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四</p>	<p>呂六〇、呂六一、呂六二、▶伊六二▲ 伊六一▲、伊六四▲、▶呂六五、呂六七、呂六六、▶伊六七▲、伊六六▲、伊六五▲ 掃一、掃一二 敷島▲、佐多 (八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲ 【長崎】(櫻野)▲ 【三角】▶八重山 ▶掃一〇、掃九 【鎮海】▶追風 【清津】疾風 【作業地】▶出雲、▶安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、二見、伏見、▶鳥海、嵯峨、磐手、勝力、駒橋 ▶栗、梅、逆、松風、▶朝風、▶若葉、初霜、子日、▶春風、旗風、沖風、峯風、鷺、鳩、雉、▶友鶴、初雁、眞鶴 掃七、掃一七、▶掃一八、掃八 ▶朝日、大泊、野島、知床</p>
<p>【佐世保】 青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、霧島、北上、榛名▲、能登呂、▶由良、▶千歳、▶金剛▲ ▶阿武隈▲、飛龍、常磐 初春、▶三月月、菊月、夕月▲、卯月▲、夕風、皐月、彌生、如月、▶望月、睦月▲ ▶江風、涼風▲、海風▲、山風、▶白露▲、夕暮、有明、時雨▲ 呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四</p>	<p>【航海中】 襟裳 (四月二十四日吳發―羅府へ) 早鞆 (六日佐世保發―「タラカン」へ) 石廊 (六日羅府發―「ホノルル」へ) ▶呂六三、呂六四、呂六八 (八日吳發―廣島灣へ) 室戸 (十一日横須賀發―大湊へ) 香取 (十三日横須賀發―館山へ)</p>

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十五年五月十三日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房第二五〇一號

本月十一日及川前支那方面艦隊司令長官復命ノ際左ノ
勅語ヲ又同日同司令長官 皇后陛下ニ拜謁ノ際左ノ
御言葉ヲ賜リタリ

昭和十五年五月十三日

海軍大臣 吉田 善吾

昭和十五年五月十一日及川前支那方面艦隊司令長官
復命ノ際賜リタル

勅 語

卿支那方面艦隊司令長官トシテ久シク國外ノ重任ヲ
荷ヒ重大ナル戦局ト機微ナル國際關係トノ間ニ處シ
克ク其ノ任務ヲ遂行シ皇軍ノ威武ヲ中外ニ宣揚セリ
朕今親シク復命ヲ聽キ更ニ卿ノ勳績ト將兵ノ忠烈ト
ヲ惟ヒ深ク之ヲ嘉ス

昭和十五年五月十一日及川前支那方面艦隊司令長官
皇后陛下ニ拜謁ノ際賜リタル

御 言 葉

出征以來二年有餘克ク重大ナ任務ヲ全ウシテ我カ海
軍ノ光輝ヲ發揚シタコトハ洵ニ御苦勞デアリマシタ
今日ハ目出度ク凱旋デ喜バシク思ヒマス今後モ自愛
シテ御奉公ヲスルヤウニ

海軍公報(部内限)號外

0823

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百一號

○令 達

官房第一五四三號ノ二
昭和十五年度廢出科目中左ノ通追加ス
昭和十五年五月十二日
臨時部 海軍大臣

款	項	目	節	疏	會計科目 電信略號
		(水陸) 整備費			
		(防備部隊) 設備費			
		(横須賀海兵團) 設備費	兵器費		ソリ
		(吳海兵團) 設備費	雜船費		ソラ
			兵器費		ソツ
○通 牒					
		(工) 備作費			
		(燃) 備料費	雜船費		レヨ
		(佐世保軍港) 雜設備費	兵器費		ツカ
		(吳軍港) 雜設備費	兵器費		ツヌ
		(軍港) 雜費	醫療品費		ソケ
			兵器費		ソノ

昭和十五年五月十四日(火)

海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 第三千五百一號 昭和十五年五月十四日

五二一

0824

軍需第一五二號

昭和十五年五月十三日

海軍艦政本部長
海軍省軍需局長

關係各廳長殿

速力標用索具供給區分ニ關スル件通牒

航海長主管艦營需品速力標用索具供給區分ハ左記ニ依ルコトト了知相成度

記

一、揚卸索ハ新舊艦船共艦營需品トシ定額表定數内揚旗線ヲ以テ之ニ充當ス

右ニ伴ヒ現定數ニテ不足ヲ生ズル向ハ其ノ使用箇所及各一條ノ所要長サ等ヲ附記シタル略圖ヲ添附シ増額請求ヲナスコト

二、前號物品ヲ艦裝品トシテ供給セラレアル艦船ハ需品ニ引換ト同時ニ艦裝品目錄ヨリ定數削除ノ手續ヲナスコト

三、導索兼符號索ハ新舊艦船共艦裝品トス

四、前號物品ヲ速力標附屬品トシテ供給セラレアル艦船ハ艦裝品ニ引換ト同時ニ艦裝品目錄ニ記載ノ手續ヲナスコト

五、前各號物品ノ引換時機ハ夫々毀損使用ニ堪ヘザルニ至リ初メテ實施スルモノトス

經契第三號ノ一三五〇

昭和十五年四月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

復水器用アルブラック管單價協定ノ件

通知

昭和十年四月一日附經契第參號ノ五貳參通知首題ニ關スル追書ノ件左記ノ通協定致候條可然處理相成度

記

一、期 間

自昭和十五年四月一日至昭和十六年三月三十一日

一、價 格

外徑壹六耗厚壹、貳耗ノモノ

壹匹ニ付 金貳圓貳拾壹錢

外徑壹〇耗厚壹耗ノモノ

壹匹ニ付 金貳圓參拾五錢

一、事 項

納入ノ遲延ガ乙ノ故意又ハ怠慢ニ因ルモノト甲ニ於

0825

ヲ認ムル場合ヲ除キ海軍契約規程第六條ニ依ル減少
金ハ之ヲ免除スルモノトス
一、其ノ他従前ノ通

經契第三號ノ一三五

昭和十五年四月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

復水器用アルミプラス管單價協定ノ件

通知

昭和十二年四月一日附經契第參號ノ五八壹通知首題ニ
關スル追書ノ件左記ノ通協定致候條可然處理相成度

記

一、期 間

自昭和十五年四月一日至昭和十六年三月三十一日

一、價 格

外徑壹六耗厚壹、貳耗長五、〇〇〇耗以下壹匁ニ付金

貳圓貳拾壹錢

一、事 項

納入ノ遅延ガ乙ノ故意又ハ怠慢ニ因ルモノト甲ニ於
テ認ムル場合ヲ除キ海軍契約規程第六條ニ依ル減少

金ハ之ヲ免除スルモノトス
一、其ノ他従前ノ通

航本機密第四二二一號

海軍造船機造兵主要材料試驗檢査規則〔航空機之部
(假規格)(秘之部)別冊ノ通定ム

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和十五年五月八日

海軍航空本部長

航本機密第四三七九號

特殊鋼板射擊試驗規程別冊ノ通定ム

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和十五年五月十三日

海軍航空本部長

○ 辭 令

東京監理官ヲ免シ浦賀監理長ヲ命ス

海軍艦政本部造船監督官
兼造兵監督官海軍大佐

新 葉 亭 造

海軍艦政本部造船監
督官海軍機關中佐

松 末 元 完

海軍公報(部内限)第三千五百一號

昭和十五年五月十四日

五二三

(各通)

海軍艦政本部附兼造 兵監督官海軍技師 廣瀬 義信
海軍艦政本部造船 監督官海軍技師 鈴木 義男

東京監理官ヲ免シ浦賀監理官ヲ命ス

横須賀海軍工廠附兼海軍艦政本部造船兵監督官海軍技師

宮脇 茂

東京監理官ヲ免ス(以上各海軍省)

海軍大佐 水井 靜治(艦本)

同 鍋島 俊策(鹿島)

海軍中佐 田中 正雄(艦本)

海軍少佐 勝原 維顯(鹿島)

同 中垣 義幸(同)

同 野間 徹(同)

同 木暮 寛(同)

海軍大尉 竹内 仁司(同)

海軍機關大佐 島田 藤治郎(艦本)

海軍機關中佐 宅 和 進(鹿島)

海軍造船少佐 近藤 忠夫(艦本)

海軍技師 濱田 善治(艦本監)

同 關 甚作(同)

同 高橋 健次(同)

軍艦鹿島審議委員ヲ命ス

海軍中佐 佐々木 靜吾(艦本)

同 藤收 美德(隅田)

海軍大尉 吉澤 正元(同)

海軍機關中佐 富田 一郎(艦本監)

同 小山 清行(艦本)

海軍造船大尉 山下 啓三(同)

海軍機關特務中尉 芳賀 峯次郎(隅田)

海軍技師 中村 榮(艦本監)

同 小見川 信(同)

軍艦隅田審議委員ヲ命ス(以上各海軍艦政本部)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第三潜水戰隊司令部、軍艦五十鈴宛

五月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀

六月 六 日迄ニ 同 愛知縣寶飯郡形原

第十二潜水隊、第二十潜水隊、第十一潜水隊宛

五月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 吳、

六月 六 日迄ニ 同 愛知縣寶飯郡形原

伊號第八潜水艦及伊號第七十一潜水艦宛ニ關シテハ別ニ各艦ヨリ通知ス

<p>第四潜水戦隊司令部、軍艦剣埼、第十八潜水隊、第九潜水隊、第三十潜水隊宛、 五月十五日迄ニ到達見ノモノハ 所屬軍港 六月 六 日迄ニ 同 宿 毛 其ノ後ハ、 第一艦隊司令部ニ同ジ 伊號第七潜水艦、伊號第五十四潜水艦及伊號第五十七潜水艦宛ニ關シテハ別ニ各艦ヨリ通知ス</p>	<p>軍艦最上宛 五月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 三 田 尻 同 十九 日迄ニ 同 安 下 庄 其ノ後ハ、 第七戦隊ニ同ジ</p>	<p>○移轉 舞鶴海軍艦船部ハ四月二十八日舞鶴海軍經理部廳舎内ニ移轉セリ</p>	<p>○事務所設置 天津風艦裝員事務所ヲ舞鶴海軍工廠内ニ設置シ五月六日ヨリ事務ヲ開始セリ 夏潮艦裝員事務所ヲ大阪市住吉區柴谷町藤永田造船所内ニ設置シ五月三日ヨリ事務ヲ開始セリ ○事務所撤去 驅逐艦親潮艦裝員事務所ハ五月十日撤去セリ</p>
<p>○練習生採用試験問題發送 第三十八期高等科經理術練習生 第三十七期高等科衣糧術練習生 第三十七期普通科衣糧術練習生 第三十九期普通科衣糧術練習生 採用試験問題 右本月九日左記ニ依リ發送濟</p> <p>記 一、聯合試験參加不可能ト認メラルル向ニハ直接、其ノ他ハ各海軍人事部長、各要港部副官(大湊ハ防備隊司令)及上海特別陸戰隊副官宛送付 二、行動其ノ他ノ都合ニ依リ臨時必要ノ分トシテ問題若千部數各海軍人事部長、各要港部副官、上海特別陸戰隊副官及第一、二、四艦隊支那方面艦隊、第一、二、三遣支艦隊副官宛送付シ置ケリ、未着若ハ別ニ必要ノ向ハ最寄ノ前記各官ヨリ受領スルカ又ハ本校ニ請求相成度 (海軍經理學校)</p>	<p>○正誤 本月十日辭令欄海軍大佐松田千秋辭令文中、 謀部第三部勤務ヲ命スノ下ニ「(兼報道部第二課長如故)」ヲ脱ス(濟)</p>		

海軍公報(部内限)第三千五百一號 昭和十五年五月十四日

【飾 磨】△球磨 (伊二一)▲ (伊二二)▲

【相生】△鶴見▲ (蒼鷹)▲

【玉】 (占守)▲ (伊四)▲

【因ノ島】△長月▲、文月▲

【三田尻】△羽黒、那智、三隈、最上

【佐伯灣】△川内、東雲、白雲、叢雲、薄雲、天霧、朝霧、夕霧

【舞 鶴】吾妻▲、龍田▲、長良▲、利根▲、筑摩▲、秋風▲、夕風▲、羽風▲、太刀風▲、朝顔▲、芙蓉▲、刈萱▲

△隼▲、鴨▲、鴻▲、鵠▲、千鳥

【佐世保】(親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲

青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、霧島▲、北上▲、榛名▲、能登▲、由良▲、千歳▲、金剛▲

△阿武隈▲、飛龍▲、常磐

初春▲、三月▲、四月▲、五月▲、六月▲、七月▲、八月▲、九月▲、十月▲、十一月▲、十二月▲

△江風▲、涼風▲、海風▲、山風▲、白露▲、夕暮、有明、時雨

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六二▲

伊六一▲、伊六四▲、呂六五、呂六七、呂六六、伊六七▲、伊六六▲、伊六五▲

掃一、掃二、敷島▲、佐多

【長 崎】(櫻野)▲ (八丈)▲、(磯風)▲ (伊一八)▲ (伊二四)▲

【三 角】△八重山

【鎮 海】△追風、掃一〇、掃九

【作業地】△出雲、安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、二見、伏見、鳥海、嵯峨、磐手、勝力、駒橋

栗、梅、蓮、松風、朝風、若葉、初霜、子日、春風、旗風、沖風、峯風

驚、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴、掃七、掃一七、掃一八、掃八

△朝日、大泊、野島、知床

【航海中】襟裳 (四月二十四日吳發—羅府—)

早鞆 (六日佐世保發—「タラカン」—)

石廊 (六日羅府發—「ホノルル」—)

呂六三、呂六四、呂六八 (八日吳發—廣島灣—)

天龍 (十三日舞鶴發—新潟—)

疾風 (十三日清津發—鎮海—)

間宮 (十三日發—佐伯灣—)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十五年五月十四日(火)
海軍大臣官房

○ 選 牒

軍務一第二三〇號

昭和十五年五月十四日

海軍省軍務局長

各鎮守府、各要港部參謀長
各艦隊參謀長

艦船神殿祭執行ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通照會有之候ニ付テハ左記了知
ノ上可然取計相成度

記

一、艦船ノ行動特ニ祕匿ヲ要スル場合ニハ執行セザル
コト

二、艦船名及行動ハ公表セシメズ

三、多數艦船同時ニ在泊スル場合ニハ艦隊司令部又ハ
所在首席指揮官ニ於テ神殿祭ノ施行ヲ要スル艦船名
希望日時等ヲ取纏メ海軍協會三重縣支部及三重縣神
職會ニ通知ノコト

(別紙)

海協普第三號ノ二

昭和十五年四月十七日

海軍協會副會長

海軍次官殿

艦艇神殿祭執行ニ關スル件

海軍協會三重縣支部長ヨリ別紙海協三第六號ノ通依頼
有之候處本件ハ軍艦乗組員ニ對スル精神教育上效果の
ノモノトモ存ゼラレ候條御詮議ノ上可然御取計相煩度
此段副申候也

(別紙)

海協三第六號

昭和十五年四月十日

海軍協會三重縣支部

海軍協會副會長殿

艦艇神殿祭執行ニ付斡旋方依頼ノ件

謹啓 愈御清穆之段奉賀候陳者今回當支部及三重縣神

海軍公報 (部内限) 號外

0831

職會合同主催ニ依リ皇記二千六百年慶祝記念トシテ將來毎歲伊勢灣ニ入港ノ海軍艦艇ノ神殿祭御執行ニ當リ本縣神職及神宮關係神職ニ於テ祭儀執行ヲ奉仕シ嚴肅ニ祭祀スルハ將兵各位ニ及ボス精神上ノ信念昂調ノ上ニ資スル所尠カラザルヲ思惟セラレ候ニ付別紙寫ノ通海軍次官宛照會致シ候ニ付御多忙中御迷惑ラ當局ニ對シ御諒解方御斡旋相煩度此段及御依頼候也

海協三五號

昭和十五年四月九日

海軍協會三重縣支部長

海軍次官殿

艦艇神殿祭執行ニ關スル件

肇國ノ大理想顯現ハ惟神ノ大道ヲ遵奉シ一億一心神意ニ從ヒ以テ其具現ニ邁進セザルベカラザル所ニシテ由來祭政一致ノ根本基調ニ依リ國民ノ崇高ナル精神ヲ鍊リ國運ノ隆昌ニ寄與シ來レルモ今次事變勃發スルヤ國民ノ其ノ信仰の心念頓ニ進ミ其決意彌々堅キヲ示スニ至レルハ洵ニ御同慶ニ堪ヘザル所ニ有之候此ノ秋恰モ輝シキ皇紀二千六百年ヲ迎ヘ之ガ慶祝記念トシテ海軍協會三重縣支部及三重縣神職會ハ合同主催ニ依リ將來

我海軍各艦艇ノ毎歲伊勢灣御入港ノ際左記ニ依リ艦艇神殿祭御儀ノ執行ニ奉仕シ乘組將兵各位ノ武運長久ヲ祈願セントス微意御探諾ヲ得候様特ニ御配意煩ハシ度此段及御依頼候也

記

- 一、神殿祭御儀ハ三重縣内神職及神宮關係神職ノ奉仕ニヨル
- 一、本祭祀ハ海軍當局ノ指揮命令ニ依ル
- 一、本祭祀費用ハ主催者ノ負擔トス
- 但供饌物ハ各艦艇ニ於テ準備ス
- 一、各艦艇當局ハ伊勢灣入港前其豫定ヲ海軍協會三重支部長宛報告セラレタシ（準備ノ都合アルニ依ル）

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百二號

昭和十五年五月十五日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二五三二號

昭和十三年官房第四一四七號中「海軍法務官 兼務二人」ヲ「海軍法務官 兼務三人」ニ、「海軍錄事 兼務一人」ヲ「海軍錄事 兼務二人」ニ改ム

昭和十五年五月十五日

海軍大臣

参照 昭和十三年官房第四一四七號ハ第一遣支艦隊軍法會議ニ海軍法務官、海軍錄事等配員ノ件ナリ

官房第二五三三號

昭和十三年官房第五〇五二號支那方面艦隊軍法會議ノ項中法務官ノ欄「兼務 三人」ヲ「兼務 四人」ニ、同錄事ノ欄「兼務 二人」ヲ「兼務 三人」ニ改ム

昭和十五年五月十五日

海軍大臣

参照 昭和十三年官房第五〇五二號ハ支那方面艦隊軍法會議等ニ海軍法務官、海軍錄事等配員ノ件ナリ

○通 牒

海人第一二二一號

昭和十五年五月十四日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

士官身上取扱ニ關スル件照會

軍令部出仕ニシテ他ノ兼務ヲ有スルモノハ特別ノモノヲ除キ主トシテ兼務廳勤務ト相成居候條自今特ニ指定セラルルモノヲ除クノ外直接兼務廳へ赴任ノコトトシ且人事關係書類ハ直接本人勤務ノ廳長ニ移牒又ハ照會ノコトニ取計相成度
追テ赴任先ニ關シ疑義ヲ生ジタル場合ハ本人退任出
發前當局ニ照會相成様致度

○辭 令

海軍書記 阿部 嘉男

海軍公報 (部内限) 第三千五百二號

昭和十五年五月十五日

五二九

0833

上海へ出張ヲ命ス(海軍省)

○ 雜 款

○ 將旗移揚

横須賀防備戰隊司令官ハ五月十一日將旗ヲ一時夏雲ニ移揚、同日横須賀防備隊ニ復歸セリ

○ 司令驅逐艦復歸

第十八驅逐隊司令ハ五月十二日司令驅逐艦ヲ陽炎ヨリ霞ニ復歸セリ

○ 郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、軍艦長門、伊勢、山城、第三戰隊司令部、軍艦金剛、榛名、第六戰隊司令部、軍艦加古、古鷹、第一水雷戰隊司令部、軍艦阿武隈、第二驅逐隊、第二十四驅逐隊、第二十七驅逐隊宛

五月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 各所屬軍港
六月 六 日迄ニ 同 宿 毛
同 十一日迄ニ 同 別 府
同 二十八日迄ニ 同 宿 毛
軍艦陸奥、第三水雷戰隊司令部、軍艦川内、第二十驅逐隊、第十二驅逐隊、第四潜水戰隊司令部、軍艦劍埼、第十八潜水隊、第十九潜水隊、第三十潜水隊宛

五月二十二日以後

聯合艦隊司令部ニ同ジ

第一航空戰隊司令部、軍艦赤城、第十九驅逐隊、伊號第七潜水艦、伊號第五十七潜水艦、驅逐艦矢風、極東丸、特務艦鳴戸、間宮、明石、攝津宛ニ關シテハ別ニ當該司令部及各艦船ヨリ通知ス

左記ニ依リ陸上無線電信所竝ニ文書交換所ヲ設置ス
同期間電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

自五月二十二日 宿 毛
至六月 六 日
自六月 八 日 宿 毛
至同 十一日 別 府
自同 十三日 宿 毛
至同 二十八日 宿 毛

第二艦隊司令部、軍艦高雄、愛宕、第七戰隊司令部、軍艦熊野、鈴谷、第八戰隊司令部、軍艦利根、筑摩、第二水雷戰隊司令部、軍艦神通、第八驅逐隊、第十六驅逐隊、第十八驅逐隊、第四水雷戰隊司令部、軍艦那珂、第六驅逐隊、第七驅逐隊宛

五月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ 各所屬軍港
六月 十 日迄ニ 同 愛知縣寶飯郡形原
軍艦摩耶、第五戰隊司令部、軍艦那智、羽黑、三隈、最上、第三潜水戰隊司令部、軍艦五十鈴、第十一潜水隊、第十二潜水隊、第二十潜水隊、伊號第八潜水艦、第二航空戰隊司令部、軍艦飛龍、蒼龍、第十一驅逐隊宛ニ關シテハ當該司令部(艦)ヨリ通知ス
左ニ依リ假設無線電信所及文書交換所ヲ設置ス

0834

同期間電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ
自五月二十三日
至六月二十日
愛知縣寶飯郡西浦

海軍公報(部内限) 第三千五百二號

昭和十五年五月十五日

五三一

0835

○艦船所在

指▲印△ハホフ
指定ヲ要セズ

○五月十五日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、迅鯨、
香取、▽劍埼、▽長門▲、陸奥、山城、▽赤城、
▽高雄、愛宕、▽五十鈴、▽蒼龍、▽多摩、
▽潮、曙、漣、隴、▽村雨、春雨、夕立▲、
五月雨、朝潮、滿潮、荒潮、▽響▲、電、曉▲、
雷▲

伊七▲、伊五▲

尻矢、鳴戸▲

(高崎)、(翔鶴)、(伊二三)▲

【長浦】

嚴島

沙風、帆風、▽朝雲、夏雲、峯雲、山雲

伊六、▽呂五七、呂五八、▽伊二四、

伊二三

掃五、掃六、掃四、掃一、掃二、▽掃三

(伊一七)

【石川島】

(宗谷)▲

【鶴見】

▽那珂

【横濱】

(國後)▲

【浦賀】

(鹿島)▲

【館山】

早潮▲、(時津風)▲

【澤風】

摩耶

【大湊】

▽神風、波風、野風、沼風

【函館】

▽朝風

【吳】

▽初鷹

【神戶】

木曾▲

【大阪】

(隅田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

【神戶】

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲、
瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲

【大湊】

呂五九

【函館】

室戸

【吳】

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、大井、
白鷹、八雲、龍驤、妙高▲、長鯨、日向、
初鷹、伊勢、▽加古、古鷹、▽熊野▲、
鈴谷▲、▽神通▲、千代田

【神戶】

吳竹、若竹、早苗、水無月▲、磯波、敷波、
矢風、▽綾波、浦波、▽黒潮、雪風、初風、
▽陽炎、霞、蔽▲、不知火▲、▽初雪、白雪、
吹雪

【大阪】

伊一三二▲、伊一二一▲、伊六三▲、伊六〇、
伊五九、伊一六、▽伊五三、伊五五▲、
伊五四、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八、
伊七五▲、伊七四▲、▽伊六八▲、伊六九▲、
伊七〇▲、伊七三▲、▽伊七二▲、伊七一▲、
伊八

【神戶】

雁

【大阪】

掃一三、掃一四▲、▽掃一六、掃一五

【神戶】

攝津、隱戸、明石

【大阪】

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

【神戶】

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲、
瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲

【飾磨】△球磨 (伊二一)△(伊二二)△

【相生】△鶴見△

【玉】△(蒼鷹)△

【玉】△伊四△

【因ノ島】△(古守)△

【三田尻】△長月△、文月△

【宿毛】△川内△、那智、三隈、最上

△東雲、白雲、叢雲、薄雲、△天霧、朝霧、夕霧

【舞鶴】△吾妻△、龍田△、長良△、△利根、筑摩△

△秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱△

△隼△、鴨△、鴻△、鵠△、千鳥

△伊五一△

△(親潮)△、(天津風)△、(嵐)△

【新瀉】△天龍△

△青葉△、衣笠△、加賀、名取、霧島、北上、榛名△、能登呂、△由良、△千歳、△金剛△

△阿武隈△、飛龍△、常磐

△初春、△三月、△菊月、△夕月、△卯月、△夕風、△皐月、△彌生、△如月、△望月、△睦月△

△江風△、涼風、海風、山風△、△白露、夕暮△

△有明△、時雨

△呂三〇、△呂三一、△呂三二、△呂三三、△呂三四、

△呂六〇、△呂六一、△呂六二、△呂六三△

△伊六一△、△伊六四△、△呂六五、△呂六七、△呂六六、△伊六七△、△伊六六△、△伊六五△

△掃一、△掃一二

△敷島△、△佐多

△(八丈)△、△(磯風)△、△(伊一八)△、△(伊二四)△

【長崎】△(櫻野)△

【大牟田】△八重山

△掃一〇、△掃九

【鎮海】△追風

△出雲、△安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、二見、伏見、△鳥海、嵯峨、磐手、勝力、駒橋

△栗、△梅、△逆、△松風、△朝風、△若葉、△初霜、△子日、△春風、△旗風、△沖風、△峯風、△鷺、△鳩、△雉、△友鶴、△初雁、△眞鶴

△掃七、△掃一七、△掃一八、△掃八

△朝日、△大泊、△野島、△知床

【航海中】

△襟裳 (四月二十四日吳發—羅府—)

△早鞆 (六日佐世保發—「タラカン」—)

△石廊 (六日羅府發—「ホノルル」—)

△呂六三、△呂六四、△呂六八 (八日吳發—廣島灣—)

△疾風 (十三日清津發—鎮海—)

△沖島 (十四日青森發—鯨ヶ澤—)

△問宮 (十四日佐伯灣發—三田尻—)

0837

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百三號

昭和十五年五月十六日(木)
海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ一一六四

昭和十五年五月十一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

自轉車購買契約ニ關スル件通牒

本年度各廳所要自轉車ノ購買契約ニ關シテハ物資需給ノ現状ニ鑑ミ名古屋海軍監督會計官ヲシテ斡旋セシメラルルコトト相成候ニ付テハ左記ニ依リ處理相成度

記

- 一、所要數量ハ別紙様式ニ依リ五月末日迄ニ名古屋海軍監督會計官ニ通知ノコト
 - 二、所要數量通知後變更ヲ要スル場合ハ其ノ都度速ニ通報スルコト
 - 三、數量變更ハ配給材料證明トノ關係アルヲ以テ可成避クルコト
- 尙各月取得數量ノ繰上、繰下又ハ翌年度繰越等ニ依

- 四、名古屋海軍監督會計官ハ購買斡旋完了ノ上ハ製造工場ヲシテ引受通知書ヲ要求元應ニ送付セシムルコト
- 五、購買契約ハ各廳ニテ締結スルコト

(別紙添)

○辭令

海軍技手 堀 春三

上海へ出張ヲ命ス(海軍省)

海軍艦政本部附兼造船監督官海軍航空本部 造兵監督官海軍技師 河田 音一

東京監理官ヲ免シ八幡監理官ヲ命ス

海軍艦政本部造兵監督官兼海軍航空本部造兵監督官海軍技師 板崎 繁市

神戸監理官ヲ命ス

神戸監査官ヲ命ス(以上十五部同)

海軍公報(部内限) 第三千五百三號 昭和十五年五月十六日

五三五

0838

第一課勤務ヲ命ス(海軍省人事局) 海軍機關少佐 足立 定男

○雜款

○司令潜水艦變更
第二十八潜水隊司令ハ五月十三日司令潜水艦ヲ伊號第五十九潜水艦ヨリ伊號第六十潜水艦ニ變更セリ

○軍艦迅鯨行動豫定

地名	着	發
横須賀	五月二十二日	五月二十二日
館山	五月二十四日	五月二十三日
清水	五月二十八日	五月二十八日
伊東	五月二十八日	五月二十八日
横須賀	六月三十一日	六月三十日
小濱	六月二日	六月一日
女川	六月五日	六月五日
釜石	六月八日	六月六日
横須賀	六月八日	六月六日

○郵便物發送先
軍艦迅鯨宛

五月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀
同 二十七日迄ニ同 静岡縣清水(本局)

同 二十九日迄ニ 同 横須賀
六月五日迄ニ 同 岩手縣上閉伊郡釜石
其ノ後ハ 横須賀
特設運送船極東丸宛
當分ノ間 佐世保

0839

○艦船所在

▲印△ハホフ
指定ヲ要セズ

○五月十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、迅鯨、

摩耶、香取、△劍崎、△長門▲、陸奥、山城、

△赤城、△高雄、愛宕、△五十鈴、△蒼龍、

△潮、曙、隴、漣、△村雨、春雨、夕立▲、

五月雨、朝潮、滿潮、荒潮、△響▲、電、曉▲、

雷▲

伊七▲、伊五▲

尻矢、鳴戸▲

(高崎)、(翔鶴)、(鹿島)、(伊二三)▲

【長浦】

巖島

汐風、帆風、△朝雲、夏雲、峯雲、山雲、

伊六、△呂五七、呂五八、△伊一二四、

伊一二三

掃五、掃六、掃四、掃一、掃二、△掃三

(伊一七)

【石川島】

(宗谷)▲

【鶴見】

△那珂

(國後)▲

【浦賀】

狹霧▲、△大潮

(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

澤風▲

△天湊、△神風、波風、野風、沼風

呂五九

【神戶】

【阪神】

【大阪】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

【神戶】

室戸

沖島

△朝風

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、大井、

自鷹、八雲、龍驤、妙高▲、長鯨、日向、

初鷹、伊勢、△加古、古鷹、△熊野▲、

鈴谷▲、△神通▲、千代田

吳竹、若竹、早苗、水無月▲、磯波、敷波、

矢風、△綾波、浦波、△黒潮、雪風、初風、

陽炎、△霞、△不知火▲、△初雪、自雪、

吹雪

伊一三三▲、伊一二二▲、伊六三▲、伊六〇、

伊五九、伊一六、△伊五三、伊五五▲、

△呂六四、呂六三、呂六八、伊五四、

△伊五七、伊五六▲、伊五八、△伊七五、

伊七四▲、△伊六八、伊六九▲、伊七〇、

伊七三▲、△伊七二▲、伊七一▲

伊八

雁

掃一三、掃一四▲、△掃一六、掃一五

攝津、隱戸、明石

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

(隅田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲、△球磨

伊一▲、△伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲

0841

【相生】

鶴見▲ (伊二一)▲ (伊二二)▲

【玉】

蒼鷹▲ (占守)▲

【因ノ島】

長月▲ 文月▲

【三田尻】

羽黒、那智、三隈、最上

【宿毛】

川内 ▲ 東雲、白雲、叢雲、薄雲、天霧、朝霧、夕霧

【舞鶴】

吾妻▲ 龍田▲ 長良▲ 利根▲ 筑摩▲ 秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱▲

【伊五二】

親潮▲ (天津風)▲ (嵐)▲

【眞野灣】

天龍▲ 青葉▲ 衣笠▲ 加賀、名取、霧島、北上、榛名▲ 能登呂、由良、千歳、金剛▲

【佐世保】

阿武隈▲ 飛龍▲ 常磐▲ 初春、三月、菊月、夕月、卯月、夕風、皐月、睦月、江風▲ 涼風、海風、山風▲

【白露】

夕暮▲ 有明▲ 時雨▲

【呂三〇】

呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六一▲

【伊六一】

伊六四▲ 呂六五、呂六七、

呂六六、伊六七▲ 伊六六▲ 伊六五▲ 掃一、掃一二 敷島▲ 佐多

【長崎】

櫻野▲ (八丈)▲ (磯風)▲ (伊一八)▲ (伊二四)▲

【大牟田】

八重山 ▲ 掃一〇、掃九

【鎮海】

追風、疾風 ▲ 早鞆

【作業地】

出雲、安宅、熱海、鳥羽、勢多、壱田、比良、保津、二見、伏見、鳥海、嵯峨、磐手、勝力、駒橋、多摩

【栗、梅、蓮、松風】

朝風、若葉、初霜、子日、春風、旗風、沖風、峯風、彌生、如月、翌月

【鷺、鳩、雉】

友鶴、初雁、眞鶴、掃七、掃一七、掃一八、掃八

【朝日、大泊、野鳥、知床】

【航海中】

襟裳 (四月二十四日吳發一羅府へ) 石廊 (六日羅府發一「ホノルル」へ) 問宮 (十六日三田尻發一吳へ)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百四號

海軍大臣官房

昭和十五年五月十七日 (金)

○令 達

官房第(五)四三號ノ二
昭和十五年度歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十五年四月二十四日

海軍大臣

<p>官房第(五)四三號ノ三 昭和十五年度歳出科目中左ノ通追加ス 昭和十五年五月十六日</p>		<p>臨時部</p>		<p>海軍大臣</p>	
款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(水陸整備費)	(事務費)	休職俸給			タチ
<p>○通 牒</p>					
<p>官房機密第三四八九號 昭和十五年五月十七日</p>					
<p>關係各廳長殿 造船事業許可ニ關スル協定ノ件通知</p>					
<p>海軍次官</p>					
<p>内令提 登載</p>					

<p>特別會計</p>		<p>款</p>		<p>項</p>		<p>目</p>		<p>解</p>		<p>疏</p>		<p>會計科目 電信略號</p>	
<p>(艦艇製造費)</p>		<p>(艦艇製造費)</p>		<p>休職俸給</p>		<p>ヨル</p>							

<p>特別會計</p>		<p>款</p>		<p>項</p>		<p>目</p>		<p>解</p>		<p>疏</p>		<p>會計科目 電信略號</p>	
<p>(海軍燃料廠 作業費)</p>		<p>(俸給)</p>		<p>休職俸給</p>		<p>ヒマ</p>							

海軍公報 (部内限) 第三千五百四號

昭和十五年五月十七日

五三九

0843

造船事業法第二條ノ規定ニ基キ遞信大臣ガ事業許可ヲ與フル場合該事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ對スル許否ハ海軍軍備上至大ノ關聯ヲ有スルヲ以テ海軍ノ要望又ハ註文内示ニ基ク船舶製造事業及船舶修繕事業ニ對シテハ無條件許可ノコトトシ尙事業ニ關シ會社ガ申請スル書類ニハ機密保持上内容ヲ明記セシメザルコトニ措置スル必要ヲ認メラルルニ付海軍、遞信兩省間ニ於テ協定ノ上左記覺書ヲ交換致シタルニ付了知相成度

記

造船許可申請書取扱ニ關スル覺書

造船事業法第二條ニ基ク許可申請書ノ取扱ニ關シ左ノ通協定ス

一、遞信省ハ造船事業許可書但書命令書中ニ左ノ條項ヲ設クルコト

「會社ノ提出スベキ書類ニシテ軍用ニ供スル船舶又ハ其ノ製造工場ニ關スル事項ヲ記載シタルモノハ關係軍監督官ヲ經由スベシ尙海軍艦艇及其ノ專用施設ニ關スル事項ハ之ヲ記載セザルモノトス」

二、遞信省ハ主要造船會社ガ其ノ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ申請セントスル場合當該會社ヲシテ事前ニ海軍省ニ連絡セシムル如ク措置スルト共ニ之ガ

許否ノ決定ニ當リテハ海軍省ト協議スルコト
三、遞信省ハ會社カ海軍ノ要望又ハ註文内示ニ基キ事業設備ノ新設擴張又ハ改良ヲナサントスル爲申請スル場合無條件許可ノコトトシ且其ノ申請書記載事項中機密事項ハ記載ヲ要セザルコトヲ承認スルコト但シ右ノ場合海軍省ハ遞信省ニ對シ事前ニ連絡スルモノトス

昭和十五年四月十七日

遞信次官 大和田 悌二
海軍次官 住山 徳太郎

○ 雜 款

○將旗一時移揚
横須賀防備戰隊司令官ハ五月十四日將旗ヲ一時第三號掃海艇ニ移揚、同十五日呂號第五十七潜水艦ニ移揚就モ同日横須賀防備隊ニ復歸セリ

○郵便物發送先
第四潜水戰隊司令部、軍艦劍崎、第十八潜水隊、第十九潜水隊、第三十潜水隊宛
六月 六 日迄ニ到達見込ノモノハ 宿 毛
其ノ後ハ 第一艦隊司令部ニ同ジ

伊號第七潜水艦、伊號第五十四潜水艦及伊號第五十七潜水艦宛ニ關シテハ別ニ各艦ヨリ通知ス

第十八戰隊司令部、軍艦多摩、常磐宛
自今 第四艦隊司令部ニ同ジ

軍艦大井宛

自今

神 戸

軍艦神威宛

當分ノ間

横 須 賀

特務艦室戸宛

五月二十二日以後二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 三十一日迄ニ 同

佐 世 保

六月 六日迄ニ 同

東 舞 鶴

同 十日迄ニ 同

佐 世 保

同 十八日迄ニ 同

吳 須 賀

同 二十二日迄ニ 同

横 須 賀

同 二十六日迄ニ 同

大 須 賀

同 三十日迄ニ 同

吳 須 賀

○正誤
昨十六日辭令欄河田音一肩書中「海軍航空本部附造兵監督官海軍技手」ハ「海軍航空本部造兵監督官海軍技師」ノ、同板崎繁市肩書中「海軍技手」ハ「海軍技師」

ノ孰モ誤
④

海軍公報（部内限）第三千五百四號

昭和十五年五月十七日

五四一

0845

○艦船所在

指▲印△ハハホ
定ヲ要セズ

○五月十七日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、迅鯨、摩耶、香取、長門▲、陸奥、山城、赤城、高雄、愛宕、蒼龍

△高潮、曙、隼、漣、村雨、春雨、夕立、五月雨、荒潮、響▲、電、曉▲、雷、朝雲、山雲

伊七▲、伊五▲、尻矢

【長浦】

(高崎)、(翔鶴)、(鹿島)、(伊二三)▲

巖島、沙風、帆風、夏雲、峯雲、大潮、朝潮、滿潮

伊六、呂五七、呂五八、伊一二四、伊一二三

掃五、掃六、掃四、掃一、掃二、掃三

(伊一七)

【石川島】

(宗谷)▲

【鶴見】

△那珂

【浦賀】

(國後)▲、(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

澤風▲、神風、波風、野風、沼風

【大湊】

【鯨澤】

沖島

【函館】

△朝風、淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、八雲、龍驤、妙高▲、長鯨、日向、初鷹、伊勢、加古、古鷹、熊野▲、鈴谷▲、神通▲、千代田

△神通

吳竹、若竹、早苗、水無月▲、磯波、敷波、矢風、綾波、浦波、黒潮、雪風、初風、陽炎、霞、不知火▲、初雪、白雪、吹雪

伊一二二▲、伊一二一▲、伊六三▲、伊六〇、伊五九、伊一六、呂六四、呂六三、呂六八、伊五四、伊五七▲、伊五八、伊六八▲、伊七一▲、伊八

雁

掃一三、掃一四▲、掃一六、掃一五

攝津、隠戸、明石、間宮

【大阪】

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲、(隅田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

【神戸】

木曾▲、球磨、大井、伊一▲、伊二▲、伊三▲

【相生】

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、(伊二一)▲、(伊二二)▲、(蒼鷹)▲、鶴見▲

海軍公報(部内限)第三千五百四號

昭和十五年五月十七日

五四三

0846

【玉】伊四▲

(占守)▲

【因ノ島】長月▲、文月▲

【舞鶴】吾妻▲、龍田▲、長良▲、利根▲、筑摩▲、天龍▲

秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、

刈萱▲

隼▲、鴨▲、鴻▲、鵠▲、千鳥

伊五二▲

(親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲

【佐世保】青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、霧島▲、北上▲、

榛名▲、由良▲、千歳▲、金剛▲

阿武隈▲、飛龍▲、常磐

初春、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、

白露、夕暮、有明、時雨

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、

呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、

呂六五、呂六七、

掃一一、掃一二

敷島▲、佐多

(八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

(櫻野)▲

長崎▲

鎮海▲、追風▲、疾風

早鞆

【タラカン】

【作業地】出雲、安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、二見、伏見、鳥海、嵯峨、

磐手、勝力、駒橋、多摩、能登呂、

羽黒、那智、三隈、最上、川内

栗、梅、蓮、松風、朝風、若葉、初霜、

子日、春風、旗風、沖風、峯風、彌生、

如月、望月、東雲、白雲、叢雲、

薄雲、天霧、朝霧、夕霧

伊五六、鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴

掃七、掃一七、掃一八、掃八

朝日、大泊、野鳥、知床

【航海中】

襟裳 (四月二十四日吳發—羅府—)

石廊 (六日羅府發—「ホルル」—)

八重山、掃一〇、掃九 (十六日大牟田發—佐世保—)

劍崎、五十鈴、鳴戸 (十六日横須賀發—作業地—)

伊五三、伊五五、伊六九、伊七〇、伊七二、

伊七三、伊七五、伊七四 (十六日吳發—作業地—)

伊六七、伊六六、伊六五 (十六日佐世保發—作業地—)

呂五九 (十六日大湊發—陸奥海灣—)

室戸 (十六日大湊發—横須賀—)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百五號

昭和十五年五月十八日 (土)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第二六〇一號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス
第九海軍軍用郵便所ノ事務開始ハ追テ之ヲ定ム

昭和十五年五月十八日

海 軍 大 臣

表中第八海軍軍用郵便所ノ次ニ左ノ如ク加フ

職 員	所 屬	所 管	設 置 所	名 稱
所長 專任 十三人	第一遣支艦隊	佐世保鎮守府	第一遣支艦隊ノ一艦	第九海軍軍用郵便所
專任 五人				
兼務 一人				
奏任 一人				
判任 一人				
員任 一人				

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナ
リ (昭和十二年九月一日海軍公報)

○ 雜 款

○ 將旗一時移揚

横須賀防備戰隊司令官ハ五月十六日將旗ヲ一時第四號
掃海艇ニ移揚、同日横須賀防備隊ニ復歸セリ

○ 司令潜水艦一時變更

第十二潜水隊司令ハ五月十六日司令潜水艦ヲ一時伊號
第六十八潜水艦ヨリ伊號第七十潜水艦ニ變更セリ

第十九潜水隊司令ハ五月十五日司令潜水艦ヲ一時伊號
第五十七潜水艦ヨリ伊號第五十六潜水艦ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

軍艦摩耶宛
五月二十日以後到達見込ノモノハ
第二艦隊司令部ニ同ジ

伊號第七潜水艦宛

海軍公報 (部内限) 第三千五百五號

昭和十五年五月十八日

五四五

0848

六月 二 日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀
其ノ後ハ 第四潜水戦隊司令部ニ同ジ

伊號第五十四潜水艦宛

五月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 第四潜水戦隊司令部ニ同ジ

伊號第五十七潜水艦宛

五月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 第四潜水戦隊司令部ニ同ジ

○正誤

昨十七日令達欄「官房第一五四三號ノ二」ハ「官房第
二〇四三號ノ二」ノ誤 滑

0849

○ 艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○五月十八日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、迅鯨、香取、口長門▲、陸奥、山城、口赤城、

口高雄、愛宕、口蒼龍、口那珂

口潮、曙、龍、速、口村雨、春雨、夕立▲

五月雨、荒潮、口響▲、電、曉▲、雷、

口朝雲、山雲

伊七▲、伊五▲

尻矢

【長浦】

(高崎)、(翔鶴)、(鹿島)、(伊二三)▲

嚴島 汐風、帆風、夏雲、峯雲、口大潮、朝潮、

滿潮 伊六、口呂五七、呂五八、口伊一二四、

伊一二三 掃五、掃六、掃四、掃一、掃二、口掃三

(伊一七)

【石川島】

(宗谷)▲

【鶴見】

(國後)▲

【浦賀】

狹霧▲

【館山】

早潮▲、(時津風)▲

【大湊】

神風、波風、野風、沼風

【船川】

呂五九

【函館】

口朝風

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、

八雲、龍驤、妙高▲、長鯨、日向、伊勢、

加古、古鷹、口熊野▲、鈴谷▲、口神通▲、

千代田

吳竹、若竹、早苗、水無月▲、磯波、敷波、

矢風、口綾波、浦波、口黒潮、雪風、初風、

陽炎、口霞、蔽▲、不知火▲、口初雪、白雪、

吹雪 伊一二二▲、伊一二一▲、伊六三▲、伊六〇、

伊五九、伊一六、伊五四、口伊五七▲、

伊五八、伊六八▲、伊七一▲、伊八

雁 掃一三、掃一四▲

攝津、隱戸、明石、間宮

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

【大阪】 (岡田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲、大井

伊一▲、口伊二▲、伊三▲

【神戸】 (瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、

(伊二一)▲、(伊二二)▲

【相生】 (紀伊水道)▲、

球磨 鶴見▲

0850

【玉】 (蒼鷹) ▲
伊四 ▲
(占守) ▲

【因ノ島】 長月 ▲、文月 ▲
舞鶴 ▲、吾妻 ▲、龍田 ▲、長良 ▲、利根 ▲、筑摩 ▲、天龍 ▲

秋風 ▲、夕風 ▲、羽風 ▲、太刀風 ▲、朝顔 ▲、芙蓉 ▲、
刈萱 ▲、
隼 ▲、鴨 ▲、鴻 ▲、鶴 ▲、千鳥 ▲
伊五二 ▲

【佐世保】 (親潮) ▲、(天津風) ▲、(嵐) ▲
青葉 ▲、衣笠 ▲、加賀 ▲、名取 ▲、霧島 ▲、北上 ▲、
八重山 ▲、榛名 ▲、由良 ▲、金剛 ▲、
阿武隈 ▲、飛龍 ▲、常磐 ▲

初春 ▲、三日月 ▲、菊月 ▲、夕月 ▲、卯月 ▲、夕風 ▲、
皐月 ▲、睦月 ▲、江風 ▲、涼風 ▲、海風 ▲、山風 ▲、
白露 ▲、夕暮 ▲、有明 ▲、時雨 ▲

呂三〇 ▲、呂三一 ▲、呂三二 ▲、呂六〇 ▲、呂六一 ▲、
呂六二 ▲、伊六二 ▲、伊六一 ▲、伊六四 ▲、
呂六五 ▲、呂六七 ▲、呂六六 ▲、
掃一 ▲、掃一二 ▲、掃一〇 ▲、掃九 ▲

敷島 ▲、佐多 ▲
(八丈) ▲、(磯風) ▲、(伊一八) ▲、(伊二四) ▲

【長崎】 (櫻野) ▲
【鎮海】 追風 ▲
【釜山】 疾風 ▲

【タラカン】 早鞆 ▲
【作業地】 出雲 ▲、安宅 ▲、熱海 ▲、鳥羽 ▲、勢多 ▲、墾田 ▲、
北良 ▲、保津 ▲、二見 ▲、伏見 ▲、島海 ▲、嵯峨 ▲、
磐手 ▲、勝力 ▲、駒橋 ▲、千歳 ▲、多摩 ▲、能登 ▲、
川内 ▲、羽黒 ▲、那智 ▲、三隈 ▲、最上 ▲、劍崎 ▲、
五十鈴 ▲

栗 ▲、梅 ▲、蓮 ▲、松 ▲、朝風 ▲、若葉 ▲、初霜 ▲、
子日 ▲、春風 ▲、旗風 ▲、沖風 ▲、峯風 ▲、彌生 ▲、
如月 ▲、望月 ▲、東雲 ▲、白雲 ▲、叢雲 ▲、
薄雲 ▲、天霧 ▲、朝霧 ▲、夕霧 ▲

呂三四 ▲、呂三三 ▲、伊五六 ▲、伊五三 ▲、
伊五五 ▲、伊六七 ▲、伊六六 ▲、伊六五 ▲、
鷺 ▲、鳩 ▲、雉 ▲、友鶴 ▲、初雁 ▲、真鶴 ▲、
掃一 ▲、掃一七 ▲、掃一八 ▲、掃八 ▲、
朝日 ▲、大泊 ▲、野島 ▲、知床 ▲、鳴戸 ▲

【航海中】
襟裳 (四月二十四日吳發—羅府へ)
石廊 (六日羅府發—「ホノルル」へ)
伊六九 ▲、伊七〇 ▲、伊七二 ▲、伊七三 ▲、伊七五 ▲、
伊七四 ▲ (十六日吳發—作業地へ)
室戸 (十六日大湊發—横須賀へ)
初鹿 (十七日吳發—小松島へ)
呂六四 ▲、呂六三 ▲、呂六八 ▲ (十七日吳發—單冠灣へ)
掃一六 ▲、掃一五 ▲ (十七日吳發—紀伊水道へ)

0851

海軍公報

(部内限) 第三千五百六號

昭和十五年五月二十日(月)
海軍大臣官房

○通牒

軍需燃第五四號

昭和十五年五月十八日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料受込(直貫)及消費額調ノ件照會

軍需機密燃第一六三號(昭和十二年九月二十五日海軍公報(部内限))照會首題ノ件申重油欄ハ自今備用重油、一號重油、二號重油ニ區別シ通報相成度
追而本年四月以降報告濟ノ分モ更メテ通報相成度

○辭令

海軍大佐 蒲田 靜三

海軍省事務囑託ヲ解キ第二遣支艦隊業務ヲ囑託ス

(三十八日海軍省)

氣象技手 門脇 関郎

第三遣支艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(留同)

内務書記官 赤 羽 稜

海軍軍事普及事務囑託ノ報酬トシテ金參拾五圓ヲ贈與ス

同

海軍軍事普及事務囑託ヲ解ク

同 福本 柳一

海軍軍事普及事務ヲ囑託ス(以上留同)

湯原 由夫

海軍航空本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(留同)

海軍大佐 志波 國彬

海軍中佐 山澄 忠三郎

同 金岡 知二郎

(各通)

海軍學生銓衡委員ヲ命ス 海軍主計中佐 奥 三二

海軍武官任用委員ヲ免ス

同 出本 鹿之助

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第三千五百六號 昭和十五年五月二十日

五四九

聯合艦隊ニ於ケル齒科治療囑託ヲ解ク 志村 雪男

東京帝國大學助教 谷 一郎

海軍航空技術廠科學部ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額參百圓ヲ贈與ス

鐵道調査部技師 櫻岡 忠雄

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金參拾五圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

同 山中 敏雄

海軍省事務ヲ囑託ス(以上五ノ同)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第三十驅逐隊司令ハ五月十四日司令驅逐艦ヲ望月ヨリ如月ニ變更セリ

○第六潜水隊行動豫定

地名	着	發
長浦	五月二十四日	五月二十三日
清水	五月二十八日	五月二十八日
長浦		

○郵便物發送先

第六潜水隊宛

五月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
同 二十七日迄ニ 清水(本局)
其ノ後ハ 横須賀

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、迅鯨、香取、口長門▲、陸奥、山城、口赤城、

口高雄、愛宕、口蒼龍、口那珂

口潮、曙、隴、漣、口村雨、春雨、夕立▲

五月雨、口響▲、電、曉▲、雷、口朝雲、

山雲

伊七▲、伊五▲

尻矢、室戸

(高崎)、(翔鶴)、(鹿島)、(伊二三)▲

【長浦】

巖島、沙風、帆風、夏雲、峯雲、口大潮、朝潮、

荒潮、滿潮

伊六、口呂五七、呂五八、口伊一二四、

伊一二三

掃五、掃六、掃四、掃一、掃二、口掃三

(伊一七)

【石川島】

(宗谷)▲

【鶴見】

(國後)▲

【浦賀】

狹霧▲、(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

摩耶

【大湊】

口神風、波風、野風、沼風

【函館】

呂五九

【吳】

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、

八雲、龍驤、妙高▲、長鯨、日向、伊勢、

口加古、古鷹、口熊野▲、鈴谷▲、口神道▲、

千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、矢風、

口綾波、浦波、口黒潮、雪風、初風、陽炎、

口霞、蔽▲、不知火▲、口初雪、白雪、

伊一二二▲、伊一二一▲、伊六三▲、口伊六〇、

伊五九、伊一六、伊五四、伊五七▲、

伊五八、伊七一▲、伊八

雁、掃一三、掃一四▲

攝津、隱戸、明石、間宮

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

(隅田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲、大井

伊一▲、口伊二▲、伊三▲、

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、

(伊二一)▲、(伊二二)▲

口球磨

口掃一六、掃一五

【相生】

鶴見▲、(蒼鷹)▲

海軍公報(部内限)第三千五百六號

昭和十五年五月二十日

五五一

【玉】伊四▲

(占守)▲

【因ノ島】

長月▲、文月▲

【舞鶴】

吾妻▲、龍田▲、長良▲、利根▲、筑摩▲、天龍▲

秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱▲

伊集▲、鴨▲、鴻▲、鵠▲、千鳥

伊五二▲

(親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲

【佐世保】

青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、霧島▲、北上▲

八重山、榛名▲、金剛▲、阿武隈▲

飛龍▲、常磐

初春、三月、菊月、夕月、卯月、夕風、

皐月、睦月、江風▲、涼風▲、海風▲、山風▲

白露▲、夕暮▲、有明▲、時雨▲、吹雪

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六二、伊六二、伊六一、伊六四、

呂六五、呂六七、呂六六

掃一、掃二、掃一〇、掃九

敷島▲、佐多、知床

(八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【長崎】

(樫野)▲

【鎮海】

追風

【釜山】

疾風

【石廊】

石廊

【タラカン】 早鞆

【作業地】 出雲、安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、二見、伏見、島海、嵯峨、

磐手、勝力、駒橋、千歳、山良、多摩、

能登呂、川内、羽黒、那智、三隈、最上、

劍埼、五十鈴

栗、梅、蓮、松風、朝風、若葉、初霜、

子日、春風、旗風、沖風、峯風、彌生、

如月、望月、東雲、白雲、叢雲、薄雲、

天霧、朝霧、夕霧

呂三四、呂三三、伊五六、伊五三、

伊五五、伊六七、伊六六、伊六五、

伊六八、伊六九、伊七〇、伊七二、

伊七三、伊七五、伊七四

鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴

掃七、掃一七、掃一八、掃八

朝日、大泊、野島、鳴戸

【航海中】

襟裳 (四月二十四日吳發—羅府へ)

初鷹 (十七日吳發—小松島へ)

澤風 (十八日横須賀發—大島へ)

沖島 (十九日船川發—小樽へ)

水無月 (十九日吳發—佐世保へ)

呂六四、呂六三、呂六八 (十九日小松島發—作業地へ)

海軍公報

(部内限) 第三千五百七號

昭和十五年五月二十一日(火)
海軍大臣官房

○通牒

軍務四第一三〇號

昭和十五年五月十六日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

國ノ事業等ニ於ケル電力消費ニ關スル件
申進

一、整第五〇〇號ヲ以テ電氣廳長官ヨリ海軍次官宛別紙
ノ通照會有之候處海軍諸施設用電力ニ關シテハ左記ニ
依リ處理スルコトト定メラレ候

追テ昭和十四年十一月二十四日軍務四第二一六號照
會(昭和十四年十一月二十九日海軍公報部内限掲載)
部内諸施設所要電力ニ關スル件ハ自然消滅ノ義ト了
知相成度

記

一、打合ノ相手方遞信大臣ナル場合ハ關係廳長ヨリ打
合事項ヲ海軍省軍務局ニ移シ中央ニ於テ交渉ス

二、打合ノ相手方遞信局長ナル場合ハ關係廳長ヨリ打
合事項ヲ鎮守府又ハ要港部司令部ニ移シ地方ニ於テ
關係遞信局長ニ交渉ス

○辭令

海軍技術會議議員海軍少佐 中野 政知
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(海軍省)

○雜款

○將旗移揚
支那方面艦隊司令長官ハ五月二十日將旗ヲ伏見ニ移揚
セリ

○司令驅逐艦一時變更
第八驅逐隊司令ハ五月十一日司令驅逐艦ヲ一時大潮ヨ
リ朝潮ニ變更セリ
○郵便物發送先

<p>第四艦隊司令部、軍艦千歳、第三十驅逐隊、軍艦能登呂、第十八戰隊司令部、軍艦多摩、常磐、第五潜水戰隊司令部、軍艦由良、第十三潜水隊、第二十一潜水隊宛 自今 神奈川郵便局氣付(軍事郵便)</p> <p>軍艦神威、第九潜水隊宛 當分ノ間 横須賀</p> <p>横濱海軍航空隊本隊宛 當分ノ間 横濱</p>	<p>第二航空戰隊司令部宛 五月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀 六月五日迄ニ同 館山 同 七日迄ニ同 横須賀 同 二十二日迄ニ同 館山</p> <p>軍艦蒼龍宛 六月九日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀 其ノ後ハ 第二航空戰隊司令部ニ同ジ</p> <p>軍艦飛龍、第十一驅逐隊宛 自今 第二航空戰隊司令部ニ同ジ</p>	<p>第七驅逐隊司令部宛 驅逐艦 潮 機關長宛 同 曙 軍醫長宛 同 隴 主計長宛 同 漣</p>
<p>驅逐艦矢風宛 當分ノ間 吳</p> <p>特務艦攝津宛 當分ノ間 吳</p> <p>伊號第八潜水艦宛 五月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 其ノ後ハ 第三潜水戰隊司令部ニ同ジ</p>	<p>高雄海軍航空隊本隊宛 自今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便) 海軍山日部隊司令部氣付 菊地部隊</p> <p>山屋部隊宛 普通郵便物ハ 佐世保郵便局氣付、海軍山屋部隊 航空郵便物ハ 第八海軍軍用郵便所氣付、海軍山屋部隊</p>	<p>○軍事郵便開始 第四艦隊司令部及同麾下艦船部隊ニ對シ左記ニ依リ軍事郵便ノ取扱ヲ開始セラル</p> <p>一、期間 自五月二十一日至九月十日 二、宛先 神奈川郵便局氣付(軍事郵便)</p>

○事務所設置
馬公要港部軍需部設立準備員事務所ヲ馬公要港部内ニ
設置シ五月十三日ヨリ事務ヲ開始セリ

○残務整理
特務艦佐多残務整理ハ同艦内ニテ行フ

○書類送付ニ關スル件
驅逐艦敷波、磯波ハ各單艦ナルニ拘ラズ從來書類送付
ニ關シ第十九驅逐隊宛送付セラルル向有之爲遲延又ハ
未着トナリ事務上支障ヲ來シタル例有之候ニ付テハ自
今書類發送ニ關シテ特ニ留意相成度
(驅逐艦敷波)

○取消
本月三日日本欄軍艦神川丸宛郵便物發送先ハ取消ス



○艦船所在

▲印ハホホ
指定ヲ要セズ

○五月二十一日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、迅鯨、香取、陸奥、▽赤城、□高雄、愛宕、

▽蒼龍、▽那珂

□潮、曙、隴、漣、□響▲、電、曉▲、雷、

□朝雲、山雲

伊七▲、伊五▲

尻矢、室戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊二三)▲

【長浦】

巖島、汐風、帆風、夏雲、峯雲、□朝潮、大潮、

荒潮、滿潮

伊六、□呂五七、呂五八、□伊一二四、

伊一二三

掃五、掃六、掃四、掃一、掃二、□掃三

(伊一七)、(宗谷)

【鶴見】

(國後)▲

【横濱】

(鹿島)▲

【浦賀】

狹霧▲

【館山】

(早潮)▲、(時津風)▲

【大湊】

摩耶

【國館】

呂五九

【小樽】

沖島、淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、

八雲、龍驤、妙高▲、長鯨、日向、▽神通▲、

千代田▲

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、矢風▲、

□綾波、浦波、□黒潮、雪風、初風、陽炎、

□霞、蔽▲、不知火▲

伊一二二▲、伊一二一▲、伊六三▲、□伊六〇、

伊五九、伊一六、伊五四、伊五七▲、

伊五八、伊七一▲、伊八

雁、掃一三、掃一四▲

攝津、隱戸、明石、間宮

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

【大阪】(隅田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

【神戸】木曾▲、大井

伊一▲、□伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、

(伊二一)▲、(伊二二)▲

【紀伊水道】

▽球磨、□掃一六、掃一五

【相生】

鶴見▲

【玉】

(蒼鷹)▲

伊四▲

(占守)▲

海軍公報(部内限)第三千五百七號

昭和十五年五月二十一日

五五七

0859

【因ノ島】 長月▲、文月▲

【舞鶴】 吾妻▲、龍田▲、長良▲、天龍

▽秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、

刈萱▲

▽隼▲、鴨▲、鴻▲、鶴▲、千鳥

伊五二▲

(親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲

【佐世保】 青葉▲、衣笠▲、加賀、名取、霧島、北上、

▽八重山、飛龍▲、常磐

初春、▽三日月、菊月、夕月、卯月、夕風、

皐月、睦月▲、吹雪、▽水無月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六二、▽伊六二▲、伊六一▲、伊六四▲、

▽呂六五、呂六七、呂六六

掃一一、掃一二、▽掃一〇、掃九

敷島▲、佐多、知床

(八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【長崎】 (樫野)▲

【鎮海】 追風

【釜山】 疾風

【ホノルル】 石廊

【作業地】

出雲、▽安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、二見、▽伏見、▽鳥海、嵯峨、

▽磐手、勝力、駒橋、▽千歳、▽由良、▽多摩、

能登呂、▽長門、山城、伊勢、▽金剛、

榛名、▽加古、古鷹、▽阿武隈、▽川内、

▽劍崎、▽羽黒、那智、▽熊野、鈴谷、三隈、

最上、▽利根、筑摩、▽五十鈴

栗、梅、蓮、松風、▽朝風、▽若葉、初霜、

子日、▽春風、旗風、沖風、峯風、▽神風、

波風、野風、沼風、彌生、▽如月、望月、

▽村雨、春雨、夕立、五月雨、▽江風、涼風、

海風、山風、▽白露、夕暮、有明、時雨、

▽東雲、白雲、叢雲、薄雲、▽天霧、朝霧、夕霧、

▽呂三四、呂三三、▽伊五六、▽伊五三、

伊五五、▽伊六七、伊六六、伊六五、

▽伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊七二、

伊七三、▽伊七五、伊七四

鷺、鳩、雉、▽友鶴、初雁、真鶴

掃七、掃一七、▽掃一八、掃八

▽朝日、大泊、野島、鳴戸

【航海中】

襟裳 (四月二十四日吳發—羅府へ)

初鷹 (十七日吳發—小松島へ)

▽呂六四、呂六三、呂六八 (十九日小松島發—作業

地へ)

▽初雪、自雪 (二十日吳發—館山へ)

早鞆 (二十日「タラカン」發—「マニラ」へ)

澤風 (二十一日館山發—清水へ)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○感 狀

感 狀

第三聯合航空隊

昭和十四年十二月中旬以降敵ガ南寧奪回ヲ企圖シ中
央軍十數個師ヲ南下セシムルト共ニ四川空軍ノ主力
ヲ前線ニ進出セシムルヤ第三聯合航空隊ハ友隊ト協
同シ機ヲ逸セズ機先ヲ制シテ屢長驅敵空軍基地ヲ攻
撃シ特ニ十二月三十、三十一兩日ノ柳州攻撃及一月
十日ノ桂林攻撃ニ於テハ友隊ト協同美事ナル戦闘ヲ
實施セリ此ノ間累計敵機四十九機ヲ擊墜シ又地上ノ
敵機十八機ヲ確實ニ爆碎シテ偉大ナル戦果ヲ收メ以
テ南下敵空軍ノ大部ヲ殲滅セリ
又二月上旬賓陽作戰ノ終局ニ至ル迄約二箇月ニ亘リ
常ニ戰場ノ制空權ヲ確保シ連日不休幾多ノ困難ヲ排
除シ友軍ノ作戰ニ協力シテ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘタ
リ

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十五年五月二十一日

仍舊ニ感狀ヲ授與ス

昭和十五年四月二十七日

支那方面艦隊司令長官 及川 古志郎

感 狀

特設水上機母艦神川丸飛行機隊

軍艦千代田飛行機隊

軍艦鳥海飛行機隊

昭和十四年十二月中旬以降敵ガ中央軍十數個師ヲ南
下セシメ死力ヲ盡シテ南寧奪還ヲ企圖シ爲ニ我ガ欽
寧方面陸軍部隊ガ苦戦ニ陥ルニ至ルヤ友隊ト共ニ連
日多大ノ困難ヲ排除シツツ勇戦奮闘隨所ニ頑敵ヲ擊
破シ或ハ屢孤立無援ニ陥レル友軍ヲ重圍ヨリ救出シ
テ偉大ナル戦果ヲ擧ゲ終ニ敵ヲシテ其ノ企圖ヲ放棄
スルノ止ムナキニ至ラシメタリ次デ賓陽作戰行ハル
ルヤ終始適切ナル陸戰協力ヲ實施シ特ニ決戦期ニ於

0862

0861

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十五年五月二十一日(火)

海軍大臣官房

○感 狀

感 狀

第三聯合航空隊

昭和十四年十二月中旬以降敵ガ南寧奪回ヲ企圖シ中
央軍十數個師ヲ南下セシムルト共ニ四川空軍ノ主力
ヲ前線ニ進出セシムルヤ第三聯合航空隊ハ友隊ト協
同シ機ヲ逸セズ機先ヲ制シテ屢長驅敵空軍基地ヲ攻
撃シ特ニ十二月三十、三十一兩日ノ柳州攻撃及一月
十日ノ桂林攻撃ニ於テハ友隊ト協同美事ナル戰闘ヲ
實施セリ此ノ間累計敵機四十九機ヲ撃墜シ又地上ノ
敵機十八機ヲ確實ニ爆碎シテ偉大ナル戰果ヲ收メ以
テ南下敵空軍ノ大部ヲ殲滅セリ
又二月上旬賓陽作戰ノ終局ニ至ル迄約二箇月ニ亘リ
常ニ戰場ノ制空權ヲ確保シ連日不休幾多ノ困難ヲ排
除シ友軍ノ作戰ニ協方シテ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘタ
リ

右ノ戦功ニ對シテ當與ヤシク其大ニシテ武勳顯著
ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス
昭和十五年四月二十七日

支那方面艦隊司令長官 及川 吉志郎

感 狀

特設水上機母艦神川丸飛行機隊
軍 艦 千 代 田 飛 行 機 隊
軍 艦 鳥 海 飛 行 機 隊
昭和十四年十二月中旬以降敵ガ中央軍十數個師ヲ南
下セシメ死力ヲ盡シテ南寧奪還ヲ企圖シ爲ニ我ガ飲
寧方面陸軍部隊ガ苦戰ニ陥ルニ至ルヤ友隊ト共ニ連
日多大ノ困難ヲ排除シツツ勇戰奮闘隨所ニ頑敵ヲ撃
破シ或ハ屢孤立無援ニ陥レル友軍ヲ重圍ヨリ救出シ
テ偉大ナル戰果ヲ擧ゲ終ニ敵ヲシテ其ノ企圖ヲ放棄
スルノ止ムナキニ至ラシメタリ次デ賓陽作戰行ハル
ルヤ終始適切ナル陸戰協力ヲ實施シ特ニ決戰期ニ於

海軍公報 (部内限) 號外

0862

0861

ケル勇猛果敢ナル攻撃ハ能ク敵ニ甚大ナル打撃ヲ與ヘタリ

右ハ南寧方面作戰有終ノ美ヲ收ムルニ寄與セル所極メテ大ニシテ武勳顯著ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十五年四月二十七日

支那方面艦隊司令長官 及川 古志郎

感 狀

南支航空部隊指揮官ノ指揮セル

第十五 航 空 隊

高雄 海軍 航空 隊

昭和十四年十二月末ヨリ十五年二月中旬ニ至ル期間
敵軍需品ノ最大補給路タル滇越鐵道遮斷ヲ企圖シ十
數回ニ亘リ堅忍不拔克ク長驅惡天候ヲ冒シ山嶽重疊
ノ嶮ヲ突破シ且屢敵戰團機ノ攻撃ニ曝露シツツ困難
ナル鐵橋攻撃ヲ敢行シテ數次之ガ遮斷ニ成功シタル
ハ武勳顯著ナリ

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十五年四月二十七日

支那方面艦隊司令長官 及川 古志郎

0863